

有限会社叶クリーナー

ポジティブインパクトファイナンス評価書

2026年9月30日



大垣共立銀行とOKB総研は、有限会社叶クリーナー（以下、「同社」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクト/ネガティブインパクト）を分析・評価した。

この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、大垣共立銀行とOKB総研が開発した評価体系に基づいている。

目次

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ.....	1
(1) 有限会社叶クリーナーの企業概要	1
(2) 有限会社叶クリーナーの事業概要	3
(3) 経営理念	8
(4) サステナビリティ.....	9
2. インパクトの特定	10
(1) バリューチェーン分析.....	10
(2) インパクトマッピング	10
(3) インパクトレーダーによるマッピング	11
(4) 特定したインパクト.....	13
(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認	16
3. インパクトの評価	18
4. モニタリング.....	20
(1) 有限会社叶クリーナーにおけるインパクトの管理体制	20
(2) 大垣共立銀行によるモニタリング	20

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ

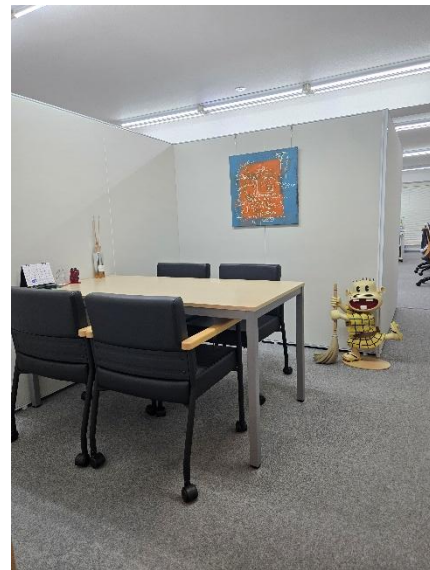
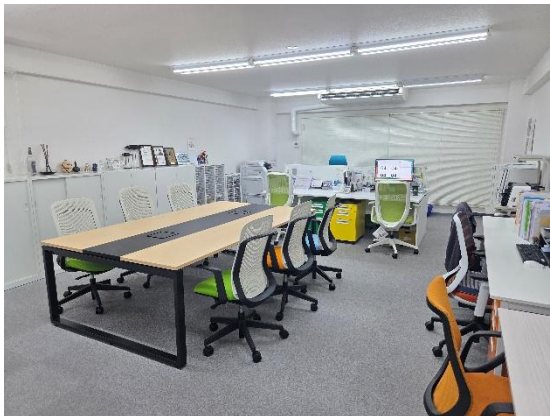
(1) 有限会社叶クリーナーの企業概要

企業名	有限会社叶クリーナー
創業	1993 年 10 月
設立	1999 年 6 月
代表者名	代表取締役 五十川 勝久
資本金	300 万円
従業員	42 名 (2026 年 7 月期時点)
売上高	22.8 億円 (2025 年 7 月期)
事業拠点	メンテナンス事業部 (本社) 愛知県あま市甚目寺稻荷 132 ホテル事業部 (名古屋営業所) 名古屋市東区泉 1 丁目 1-27 パークサイド村本ビル 3B
事業内容	ホテル清掃 ビルメンテナンス



＜沿革＞

1993 年 10 月	現代表取締役が個人事業主として営業を開始
1999 年 6 月	有限会社叶クリーナー設立
2017 年 3 月	ホテル事業部を設立（ホテル清掃事業に参入）
2026 年 10 月予定	直営飲食店「積日」オープン（岐阜県高山市荘川町）



直営飲食店 完成予想図

(2) 有限会社叶クリーナーの事業概要

【事業内容】

主力事業は、ホテル清掃（客室のベッドメイク・清掃）およびビルメンテナンスである。国籍や性別を問わず人材を募集しており、現在パートおよびバイト含め約 800 名のスタッフが在籍している。

同社は設立以来、ビル清掃およびメンテナンスを主力事業としていたが、約 10 年前にホテル清掃事業へ参入した。現在では、ホテル清掃事業が売上高の約 8 割を占めるまでに成長している。

➤ ホテル清掃

ホテル清掃事業の業務内容は、客室のベッドメイクや清掃が中心で、現在、全国約 70 のホテルを担当している。

担当先は、ビジネスホテルからラグジュアリーホテルまで幅広く、リゾートホテルの清掃業務も手掛けている。また、業務の一部を 3～4 社の協力会社へ外注しており、自社スタッフと外注スタッフを組み合わせたハイブリッドな運営体制を採用している。



➤ **消毒除菌抗菌作業**

(新型コロナウイルス感染症対策を含む)



➤ **ビルメンテナンス**

特殊な機材や薬品を使用し、日常清掃では落としきれない汚れを除去する定期清掃も行っており、ビルや店舗の高所ガラスから窓サッシまで、清掃箇所の素材や状況に応じた清掃作業に対応している。



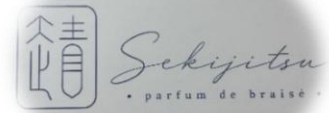
➤ **新規事業（開業準備中）**

新規事業として飲食業への参入を計画しており、岐阜県高山市荘川町において、古民家をリノベーションした飲食店の開業を予定している。

周辺地域では飲食店の不足が課題となっていることから、当地区の宿泊客・観光客の飲食需要への対応という面で期待されている。

オープン予定の飲食店の概要は次の通り。

- 店 名：「積日」
- 開業予定時期：2026 年 10 月
- 住 所：岐阜県高山市荘川町猿丸字水上口
(岐阜県高山市荘川町「道の駅 桜の郷 荘川」からすぐ)
- コンセプト：古民家をリノベーションした飲食店で、焼き魚などの和食を提供する。
「シンプルな和食の価値を知ってほしい」という代表者の思いを店舗コンセプトとしており、和食の魅力を伝えることを目指している。また、テイクアウトのメニューにも力を入れる。



完成予想図

【今後の展開】

- **売上目標**

2031 年度までに売上 50 億円達成という目標を掲げ、今後も積極的な拡大路線を継続する。

- **エリア展開**

現在展開している首都圏、名古屋、大阪、北海道、沖縄などに加え、今後は特に広島や福岡といった西日本エリアへの進出を強化する方針である。また、静岡などでも受注案件が増える見込みがある。

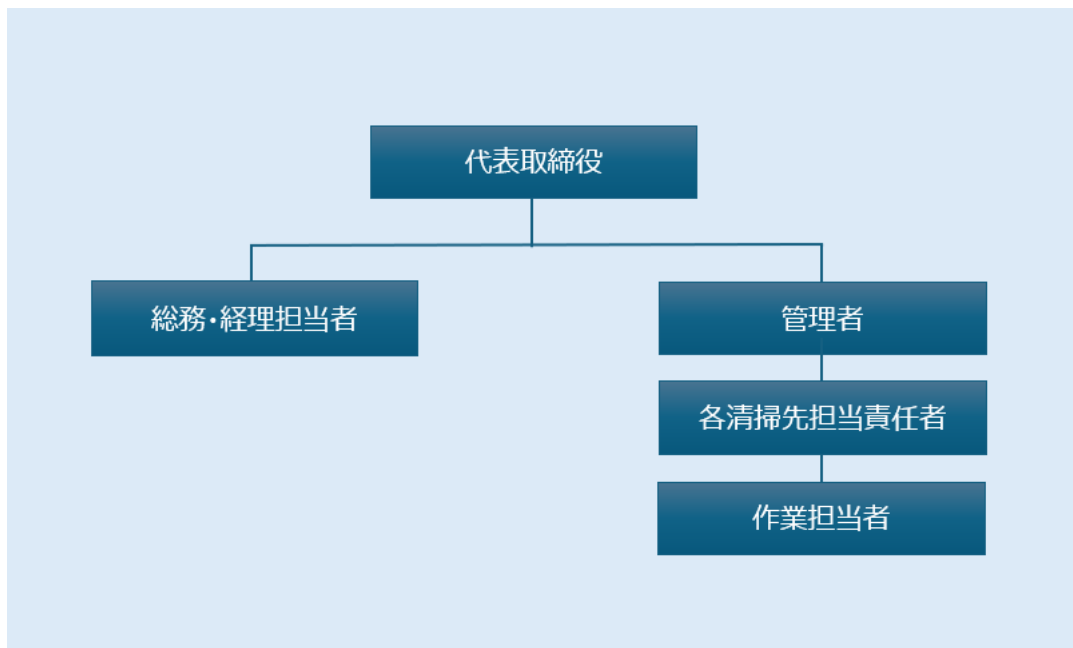
- **新規事業（飲食業）**

2026 年 10 月にオープンする予定の「積日」を成功させ、将来的には 2 店舗目・3 店舗目の展開も視野に入れている。

- **スタッフの採用・育成**

事業拡大に伴い、管理者や現場スタッフの採用・育成が重要な課題となっており、採用と育成を強化する。

【組織体制】



(3) 経営理念

同社は以下の理念を掲げて、事業活動に取り組んでいる。

経営理念

清潔な安心空間、新しい価値の創造へ

お客様の「安心・安全・快適」な環境を実現し、積極的な人材雇用を促進し、社会、環境に貢献することを目指す。

また、社員一人一人が会社にとって財産であると同様に、社会にとっても必要な人材であるべく日々研鑽を積み、教育を継続し資質の向上に努めています。

ビジョン

お客様にも従業員にもクリアな運営

良い仕事をするには、のびのびと安心して働ける環境が必要と考えております。そのような代表者の方針から、お客様はもちろん、従業員に対しても誠実な姿勢で向き合い、働きやすい職場を目指しております。すべての人が安心して働き、快適な宿泊環境を支えることで、地域社会とともに持続可能な観光産業の発展に貢献する企業を目指します。

社名には、創業者である現代表者が高校生の頃にアルバイトをしていた清掃会社の名称の一部を使用しており、経営理念を実現し、「願いを叶えたい」という創業者の思いが込められている。

また、「新しい日常を、想像（創造）する。」というスローガンを掲げ、朝礼などを通じて会社の理念や事業拡大に対する思いを社員と共有し、理念の浸透を図っている。



(4) サステナビリティ

①環境面

- **環境配慮型製品の使用**

同社が清掃するラグジュアリーホテル等では、環境に配慮した洗剤・製品を積極的に選定している。

- **廃棄物・資源の効率化**

清掃先であるホテルの方針に協力し、客室のゴミ箱にビニール袋を設置しないなど、プラスチック削減に取り組んでいる。また、ビルメンテナンス業務で発生する汚水については、専門業者に委託し、適切に処理している。

- **CO₂削減**

社用車 7 台のうち 3 台にハイブリッド車を導入している。

②社会面

- **地域貢献**

社長の母校である小学校への備品寄贈など、地域社会への貢献活動を継続的に行っている。

- **地方創生への寄与**

新規事業である飲食店の出店を通じて、食事場所が不足している観光地の活性化に貢献することを目指している。

③雇用面

- **ダイバーシティ&インクルージョン**

全従業員約 800 人のうち 8 割が外国人材であり、ネパール、ベトナム、フィリピンなど多国籍の従業員が活躍している。現場では日本語が堪能なスタッフが通訳を担うなど、円滑なコミュニケーションを図っている。管理職については、6 名のうち 1 名は女性であり、性別を問わず意欲のある人材を登用している。また、障がい者の雇用も行っている。

- **ワーク・ライフ・バランス**

スタッフと従業員は各ホテルへ直行直帰する勤務形態を基本とし、スタッフと従業員の通勤負担を軽減している。また、有給休暇の取得を推進しており、多くの従業員が利用している。

- **従業員の健康と安全**

現場での転倒や熱中症といった労働災害の防止に努めている。熱中症対策として、塩タブレットの配布や、事前に客室を冷やしておくなどの対策を講じている。

- **スキルアップ支援**

月 1 回程度の頻度で、マナー研修やチェッカー研修といったスキルアップのための研修を実施している。また、ハラスメント発生時の相談体制を整備しており、全従業員に周知している。

2. インパクトの特定

(1) バリューチェーン分析

- 同社は、ホテル客室清掃事業およびビルメンテナンス事業を展開し、全国のホテルを中心に約 70 施設と契約し、客室のベッドメイクや清掃業務を提供している。ホテル業界では人手不足が深刻化しているなか、宿泊施設の運営を支える重要な役割を担っており、全国各地のホテルからの需要拡大に対応している。
- 主力であるホテル清掃事業の業務内容は客室清掃やベッドメイクを中心とし、ビジネスホテルからラグジュアリーホテル、リゾートホテルまで幅広い施設でサービスを提供している。
- また、自社スタッフに加え、3～4 社の協力会社と連携したハイブリッドな運営体制を構築しており、繁閑に応じた柔軟な人員配置と安定的なサービス提供を実現している。豊富な運営実績と清掃ノウハウを活かし、各ホテルの品質基準に応じた高水準の清掃サービスを提供している。



(2) インパクトマッピング

- 大垣共立銀行は、先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。
- 同社の事業を、「建物一般清掃業（国際標準産業分類：8121）」、「その他の建物及び産業清掃業（同：8129）」とする。
- 川上の事業として「石けん、洗剤、クリーニング・つや出し剤、香水及び化粧品類製造業（同：2023）」とする。
- 川下の事業を、「短期宿泊業（同：5510）」とする。
- 以上の事業について、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト（以下 PI）」と「ネガティブインパクト（以下 NI）」を想定する。

(3) インパクトレーダーによるマッピング

バリューチェーン			川上の事業		同社の事業				川下の事業	
業種 (国際標準産業分類コード)			石けん、洗剤、クリーニング・つや出し剤、 香水及び化粧品類製造業 (2023)		建物一般清掃業 (8121)		その他の建物及び産業清掃業 (8129)		短期宿泊業 (5510)	
大分類	インパクトエリア	インパクト	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
社会	人格と人の安全保障	紛争								
		現代の奴隷制度								
		児童労働								
		データのプライバシー								
		自然災害								
	健康と安全	健康と安全	●	●		●		●	●	●
		水								
	資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手頃さ、品質	食糧								
		エネルギー								
		住居								
		健康と衛生	●							
		教育								
		移動手段								
		情報								
		コネクティビティ								
		文化と伝統			●				●	
		ファイナンス								
	生活	雇用	●		●		●		●	
		賃金	●	●●	●	●	●	●	●	●
		社会的保護		●		●		●		●
	平等と正義	ジェンダー平等								
		民族/人種の平等								
		年齢差別								
		その他の社会的弱者								
社会経済	強力な制度、平和、安定	法の支配								
		市民的自由								
	健全な経済	セクターの多様性								
		零細・中小企業の繁栄	●						●	
	インフラ	インフラ			●		●			
自然環境	気候の安定性	気候の安定性		●●						
	生物多様性と健全な生態系	水域		●●						●●
		大気		●●						
		土壌		●●						●
		生物種		●						●
		生息地		●						●
	サーキュラリティ	資源強度		●●						
		廃棄物		●●		●		●		●

「●●」は重要な影響があるカテゴリを示す

「●」は影響があるカテゴリを示す

川上・同社・川下の事業において発現したインパクトについて、カテゴリ毎の対応するSDGsターゲットを整理する。
 なお、川上の事業は、同社が与える影響は限定的であるため、インパクトを特定しない。

	大分類	インパクトエリア	インパクト		取組内容	対応するSDGs
			PI	NI		
同社	社会	健康と安全	健康と安全	○ ○	客室清掃業務を通じて、清潔で衛生的な客室環境を維持し、ホテル利用者の健康と安全の確保に貢献している。 従業員に対して、転倒事故や熱中症の防止するため、LINEや朝礼を活用した注意喚起・情報共有を継続的に実施している。 「健康経営優良法人」の認定取得を検討することで、更なる従業員の健康維持にも取り組んでいく方針である。	3.3 8.8
		生活	雇用賃金	○	未経験者向けの研修や資格取得支援に加え、直行勤務や柔軟な雇用形態により多様な働き方を実現している。また、有給休暇取得率向上、退職金制度導入など、働きがいと雇用の安定性向上に向けた取組を進めている。	8.6 8.8
		平等と正義	ジェンダー平等	○	2030年度までに管理職に占める女性比率引き上げを目標に掲げ、多様な人材が能力を発揮できる環境整備を推進していく方針である。	8.8
	社会経済	インフラ	インフラ	○	ホテル業界の深刻な人手不足を背景に、客室清掃サービスを提供することでホテルの安定運営を支えている。人材確保や清掃業務の効率的な運営を担うことで、従業員の負担軽減と宿泊インフラの維持・向上に貢献し、増加する宿泊需要への対応を支えている。	9.1
	自然環境	気候の安定性	気候の安定性	○	2031年度までに社有車の80%以上をEV・HVなどの環境対応車へ切り替えることにより、温室効果ガス排出量の削減を図っていく方針である。	13.2
		サーキュラリティ	廃棄物	○	請求書の電子化などのペーパーレス化を推進することで、紙使用量を50%削減する目標を設定することで、廃棄物の発生抑制に取り組んでいく方針である。	12.5

※同社の「健康と安全」「ジェンダー平等」のPI、「気候の安定性」のNIは、固有のインパクトとして追加する。

※インパクトレーダーで発現したインパクトのうち、上記表に不記載のインパクトは、同社の事業と関連性が低いいため、評価対象外とした。

(4) 特定したインパクト

以上を踏まえて、同社のインパクトをE S G（環境・社会・ガバナンス）毎に特定した。

環境（Environment）

環境に配慮した経営の推進

- 同社は、ホテル客室清掃およびビルメンテナンス事業を通じて、環境負荷の低減に取り組んでいる。
- 清掃業務では、少ない水で洗浄力が高いため節水効果がある等の環境配慮型洗剤を使用しているほか、その他のホテルにおいても環境に配慮した洗剤や資材を積極的に採用している。また、清掃先ホテルの環境方針に協力し、客室のゴミ箱にビニール袋を設置しないなど、プラスチック使用量の削減にも取り組んでいる。
- ビルメンテナンス業務で発生する汚水については、専門業者へ委託のうえ適切に処理しており、水環境への負荷低減を図っている。加えて、脱炭素化への対応として、2031 年度までに社有車の 80%以上をEV・HV などの環境対応車へ切り替える目標を掲げ、温室効果ガス排出量の削減を推進する方針である。
- 請求書の電子化などのペーパーレス化を進め、2031 年度までに紙使用量を 50%削減する目標を設定している。これにより、紙資源の使用抑制や廃棄物発生量の削減を図るとともに、業務効率化にもつなげている。
- このインパクトは「気候の安定性」、「廃棄物」のカテゴリに該当し、自然環境面のNI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
12.5：2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
13.2：気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。

社会（Social）

客室清掃事業を通じた宿泊インフラへの貢献

- 同社は、客室清掃業務を通じて、清潔で衛生的な宿泊環境を提供し、ホテル利用者の健康と安全の確保に貢献している。高品質な清掃サービスにより快適な滞在環境を維持することで、宿泊施設の顧客満足度向上にも寄与している。
- また、ホテル業界における深刻な人手不足を背景に、客室清掃サービスを安定的に提供することで、宿泊施設の円滑な運営を支えている。人材の確保・育成や清掃業務の効率的な運営を担うことで、ホテル従業員の負担軽減とサービス品質の維持・向上を実現し、増加する宿泊需要への対応を支援している。
- 今後は、2031 年度までに売上高 50 億円の達成を目標に掲げ、首都圏、名古屋、大阪、北海道、沖縄などの既存エリアに加え、福岡を中心とした西日本エリアへの進出を強化する方針であり、全国規模でのサービス提供体制の拡充を進めていく。こうした事業拡大により、さらに、全国規模での事業展開や協会会社とのネットワークを活用することで、地域における雇用創出や観光産業の発展にも貢献している。
- このインパクトは、同社の「インフラ」、「健康と安全」のカテゴリに該当し、社会、社会経済面のPI を拡大すると考えられる。

- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
3.3：2030 年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに
肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。
9.1：全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、
地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発
する。

ジェンダー平等の推進と働きやすい職場環境の構築

- 同社は、ホテル業界を支える人材サービス企業として、多様な人材が活躍できる雇用環境の整備を推進している。全従業員約 800 名のうち約 8 割を外国人材が占めており、ネパール、ベトナム、フィリピンなど多様な国籍の人材を積極的に採用している。現場では日本語が堪能なスタッフが通訳を担うなど、円滑なコミュニケーションを支援する体制を構築しており、国籍や文化の違いを超えて誰もが活躍できる職場づくりを実現している。また、女性や障がい者の雇用にも取り組んでおり、管理職への登用においても性別を問わず意欲と能力を重視した人材登用を行っている。
- また、働きやすい職場環境の整備にも注力しており、従業員は各ホテルへの直行直帰を基本とすることで通勤負担の軽減を図っている。また、有給休暇の取得を推進し、ワーク・ライフ・バランスの向上に取り組むことで、従業員の働きがいと定着率の向上につなげている。
- 未経験者でも安心して働けるよう教育体制を充実させており、マナー研修やチェッカー研修などのスキルアップ研修を月 1 回程度実施している。加えて、資格取得支援やハラスメント相談窓口の整備を通じて、従業員の成長支援と安心して働ける環境づくりを推進している。
- 今後は、2030 年度までに女性管理職の登用を進めることに加え、有給休暇取得率 70%以上の達成、新たな退職金制度の導入を目指している。これらの取組を通じて、多様な人材が長期的に活躍できる雇用基盤を構築するとともに、ホテル業界の人手不足解消に貢献し、持続可能な雇用の創出と地域社会の発展につなげていく方針である。
- このインパクトは、「雇用」、「賃金」、「ジェンダー平等」のカテゴリに該当し、社会面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
8.6：就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。
8.8：移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

企業統治（Governance）

安全な職場環境の構築

- 同社は、従業員が安心して働ける安全な職場環境の構築を重要な経営課題と位置付け、労働災害の防止と健康維持に取り組んでいる。客室清掃業務では、転倒や熱中症などの労働災害リスクへの対応を徹底しており、熱中症対策として塩タブレットの配布に加え、作業前に客室を冷やしておくなど、従業員の身体的負担を軽減する取組を実施している。
- また、職場におけるハラスメント防止にも注力しており、相談窓口や対応体制を整備し、その内容を全従業員に周知することで、安心して働ける職場づくりを推進している。
- 今後は、従業員の健康保持・増進に向けた取組をさらに強化し、「健康経営優良法人」の認定取得を目指している。
- このインパクトは「健康と安全」のカテゴリに該当し、社会面のNIを縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

8.8：移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認

① 国内におけるインパクトニーズ

- 国内における「SDGs インデックス&ダッシュボード」を参照し、国内のインパクトニーズと同社のインパクトを確認する。
- 上記工程を経て特定した、同社のインパクトに対する SDGs は、「3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」、「8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する」、「9. 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」、「12. 持続可能な生産消費形態を確保する」、「13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」に対して、国内における SDGs ダッシュボードでは、「13」において大きな課題が残る、「3、8、9、12」において課題が残るまたは重要な課題が残るとなっており、国内のインパクトニーズと同社のインパクトが一定の関係性があることを確認した。



② 愛知県におけるインパクトニーズ

- 愛知県における「SDGs 未来都市計画」を参照し、愛知県における SDGs 達成に向けての課題を確認した。



③ 大垣共立銀行が認識する社会課題との整合性

- 大垣共立銀行は、「サステナビリティ基本方針」において「地域経済の持続的成長」「地域のイノベーション支援」「多様な人材の活躍推進」「気候変動対応、環境保全」「地域資源の活用」「コーポレートガバナンスの高度化」の 6 つを重点課題（マテリアリティ）としている。
- 同社の特定したインパクトは以下の通り、大垣共立銀行の重点課題（マテリアリティ）と方向性が一致する。

同社の特定したインパクト	大垣共立銀行の重点課題（マテリアリティ）
環境に配慮した経営の推進	気候変動対応、環境保全
客室清掃事業を通じた宿泊インフラへの貢献	地域経済の持続的成長
ジェンダー平等の推進と働きやすい職場環境の構築 安全な職場環境の構築	多様な人材の活躍推進

以上のように、大垣共立銀行は本件の取組みが、SDGs の達成および貢献に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることにつながることを目指している。

3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、PI の拡大、NI の緩和・管理が適切になされるかを評価し、特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する

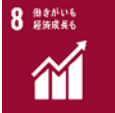
環境に配慮した経営の推進

項目	内容
インパクトの種類	自然環境的側面において NI を縮小
カテゴリ	「気候の安定性」「廃棄物」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・環境対応車への切り替えや請求書の電子化等を進め、環境負荷低減の取り組みを加速させる
KPI	・2031 年度までに、自社保有車両のうち 80%以上を環境対応車（EV・HV）に切り替える (2025 年度実績：43%【環境対応車 3 台／全 7 台】) ・2031 年度までに、自社の紙使用量を 2025 年度比 50%削減する (2025 年度実績：850,000 枚) ※各項、以降の目標は再設定する

客室清掃業務を通じた宿泊インフラへの貢献

項目	内容
インパクトの種類	社会的、社会経済的側面において PI を拡大
カテゴリ	「インフラ」「健康と安全」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・長年培ってきた客室清掃業務の技術・経験と信頼を強みに、全国のホテル業界のニーズに応え続け、宿泊利用者の満足度向上に貢献していく
KPI	・2031 年度までに売上高を 50 億円にする (2024 年度売上高：22.8 億円) ・2031 年度までに、福岡・博多地区で新たにホテル清掃業務を 3 件以上受注する (2026 年 7 月時点：同地区受注なし) ※各項、以降の目標は再設定する

ジェンダー平等の推進と安全で働きやすい職場環境の構築

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大 社会的側面において NI を縮小
カテゴリ	「健康と安全」「賃金」「ジェンダー平等」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・女性従業員がマネジメントを学ぶ機会を創出し、管理職の育成環境を整える ・福利厚生の充実や有給休暇の計画取得推進、定年制度を含む就業規則の見直しを通じ長く安心して働ける環境づくりに努め、地域の雇用に引き続き貢献する
KPI	・2030 年度までに女性管理職比率を 30%以上にする (2026 年 7 月時点 : 17%【女性 1 名／全 6 名】) ・2030 年度までに有給休暇取得率を 70%以上にする (2025 年度実績 : 60%) ・2030 年度までに新しく退職金制度を導入する ・2027 年度までに健康経営優良法人認定を取得し、以降継続する ※各項、以降の目標は再設定する

4. モニタリング

(1) 有限会社叶クリーナーにおけるインパクトの管理体制

- 同社では、五十川社長を中心に、本 PIF におけるインパクトの特定ならびに KPI の策定を行った。
- 今後については、本件にかかる責任者を五十川社長とし、SDGs の推進、ならびに、本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

(2) 大垣共立銀行によるモニタリング

- 本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と大垣共立銀行の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、大垣共立銀行とOKB総研が現時点で入手可能な公開情報、同社から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 大垣共立銀行、およびOKB総研が本評価に際して用いた情報は、大垣共立銀行およびOKB総研がその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利はOKB総研に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳および翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。